

令和6年度 学校教育自己診断(教職員アンケート) 結果

令和6年12月13日

1 実施期間 令和6年11月15日(金)～11月26日(火)

羽曳野市立高鷲南小学校

2 回答数 35件

(回答内訳について)

A そう思う B どちらかというと思う

C どちらかというと思わない D そう思わない

	質問項目	肯定的回答(A+B)		R6 回答内訳				前年度比	評価
		R5	R6	A	B	C	D		
1	学校の教育課題について、教職員で日常的によく話し合っている。	91.4	97.1	41.2	55.9	2.9	0.0	5.6	↗
2	各教科の指導内容について基礎基本を明確にし、教材の精選工夫を行っている。	91.4	97.1	44.1	52.9	2.9	0.0	5.6	↗
3	「思考力」「表現力」を育む授業づくりをめざし、その学習過程で「学習意欲」を育み、学習結果として「知識・技能」の習得ができる授業づくりに取り組んでいる。(めあて・考える・まとめの学習過程を入れた)	88.6	100.0	41.2	58.8	0.0	0.0	11.4	↗
4	支援を必要とする児童への対策を全校的な課題として取り組んでいる。	91.4	91.2	35.3	55.9	8.8	0.0	-0.3	→
5	児童が生命の大切さや社会ルールを身につけることができるよう、年間指導計画に基づき道徳の時間を中心に継続的に取り組んでいる。	88.6	91.2	50.0	41.2	8.8	0.0	2.6	↗
6	人権尊重の教育に関するさまざまな課題や指導方法について学校全体で話し合っている。	91.4	97.1	35.3	61.8	2.9	0.0	5.6	↗
7	問題行動の防止のため早期指導、組織的な対応等に学校全体で心がけている。	85.7	100.0	55.9	44.1	0.0	0.0	14.3	↗
8	生徒指導において家庭や関係諸機関と緊密な連携がとれている。	91.4	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	8.6	↗
9	学校行事について、児童にとって魅力あるものとするために工夫改善を行っている。	82.9	91.2	32.4	58.8	8.8	0.0	8.3	↗
10	児童がいきいきと学ぶことができる、集団づくりに学校全体で取り組んでいる。	88.6	91.2	38.2	52.9	8.8	0.0	2.6	↗
11	各分掌や各学年の連携が円滑に行われ、有機的に機能している。	82.9	85.3	26.5	58.8	14.7	0.0	2.4	↗
12	職員会議をはじめ、学年会や各部会が情報交換と課題検討の場として有効に位置づいている。	82.9	91.2	32.4	58.8	8.8	0.0	8.3	↗
13	教職員間の相互理解が十分になされ、信頼関係に基づいて教育活動を行っている。	74.3	82.4	26.5	55.9	17.6	0.0	8.1	↗
14	事故・事件・災害等に対して、迅速かつ適切な対応ができるよう役割分担を明確化している。	97.1	97.1	50.0	47.1	2.9	0.0	-0.1	→
15	施設設備について、日常的に点検や管理をしている。	88.6	97.1	38.2	58.8	2.9	0.0	8.5	↗
16	コンピュータ・学習用タブレット等の情報機器(大型モニターを含む)を授業で活用している。	97.1	94.1	58.8	35.3	2.9	2.9	-3.0	↘
17	個人情報保護の観点から、児童の個人情報(電子データを含む)に関する管理が適切である。	94.3	91.2	50.0	41.2	8.8	0.0	-3.1	↘
18	保護者や地域の人と接する機会を持ち、PTA活動や地域行事に参加するとともに、積極的に情報発信を行っている。	77.1	88.2	26.5	61.8	8.8	2.9	11.1	↗
19	保幼・小・中学校との校種間連携の機会があり、教育活動全般にいかしている。	85.7	88.2	38.2	50.0	11.8	0.0	2.5	↗
20	職場において、教職員は服務規律を守っている。	94.3	100.0	58.8	41.2	0.0	0.0	5.7	↗

>85

<65

※↗は前年比±1以上。

前年比+5以上

前年比-5以下